

自己評価報告書

平成 23 年 4 月 1 日現在

機関番号：32641

研究種目：基盤研究 (C)

研究期間：2008～2012

課題番号：20520181

研究課題名 (和文) 日本近世を中心とする書籍類の流通と価格についての研究

研究課題名 (英文) A Study about Distribution and Prices of Books
Mainly in the Modern Ages of Japan

研究代表者

鈴木 俊幸 (SUZUKI TOSHIYUKI)

中央大学・文学部・教授

研究者番号：00216417

研究分野：日本文学

科研費の分科・細目：文学・日本文学

キーワード：書籍価格・書籍流通・書籍目録・貸本屋・近世書籍文化

1. 研究計画の概要

(1) 基礎的データの整備

- ① 近世前期発行書籍目録類より、書籍価格記事のあるものについて、データベースを作成する。
- ② 近世後期、各版元発行の蔵版目録について、価格記入のあるものをデータベース化する。
- ③ 各地の史料調査等で得た書籍価格に関わる史料の価格記事をデータベースに加える。

(2) 史料調査と資料収集・整理

- ① 各地の図書館・文書館等に所蔵されている近世書籍文化に関わる史料を渉猟し、書籍価格に関わるものについて収集・整理をおこなう。
- ② 書籍流通に関わる資料を収集・整理する。

(3) 研究成果の公開と研究者間における研究情報の共有化

『書籍文化史』を年1回のペースで編集・発行する。「近世書籍研究文献目録」補遺を連載し、寄稿された論考・資料紹介を掲載し、研究者・研究機関に配布する。

2. 研究の進捗状況

(1) データ整備については、近世前期発行書籍目録類のデータベース化を終え、近世後期蔵版目録記事のデータベース化もほぼ完了している。

(2) 史料調査、および資料収集・整理については、図書館・文書館等全国の公的所蔵機関所蔵のものについて、過半の調査を終えている。

(3) 『書籍文化史』は順調に発行を継続しており、寄稿も多く、研究者間における情報共有に寄与していると思われる。

3. 現在までの達成度

- ② おおむね順調に進展している。
(理由)

データ化の遅れている史料もあるが、全体的には、ほぼ当初予定していたとおりの分量のデータ集積がなされている。

史料調査については、九州地区を中心に、未調査の機関を若干残している。

雑誌の発行は計画どおり、年1回のペースを継続している。

4. 今後の研究の推進方策

- (1) 集積したデータをよりかつようしやすくする方途を考える。すなわち、分類等のフィールドの整備をおこない、類別にソートできるような整備をおこなう。
- (2) 未調査の資料、未入力データを早急に消化する。
- (3) データの公開をおこなう。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計7件)

- ① 鈴木俊幸「京都の絵草紙屋和久屋治兵衛・桜井屋治兵衛」『紀要 言語・文学・文化』(中央大学文学部)、査読無、107号、2011年、93-165p
- ② 鈴木俊幸「『戊辰以来 新刻書目便覧』の諸本」『紀要 言語・文学・文化』(中央大学文学部)、査読無、105号、2010年、71-101p
- ③ 鈴木俊幸「歌麿画『駿河舞』の一図をめぐって」『浮世絵芸術』(国際浮世絵学会)、

- 査読無、160号、2010年、50-51p
- ④ 鈴木俊幸「店頭の書籍広告—「看板」小考—」『紀要 言語・文学・文化』（中央大学文学部）、査読無、103号、2009年、95-110p
 - ⑤ 鈴木俊幸「信州諏訪升屋文五郎の貸本書目」『江戸文学』（べりかん社）、査読無、39号、2008年、89-98p

〔図書〕（計5件）

- ① 岡雅彦・大橋正淑・市古夏生・岡本勝・柳原昌紀・堀川貴司・鈴木俊幸・和田恭幸・雲英末御・落合博志編『江戸時代初期出版年表』、勉誠出版、2011年、672p
- ② 鈴木俊幸『江戸の本づくり 黄表紙で読む江戸の出版事情』、平凡社、2011年、244p
- ③ 鈴木俊幸『絵草紙屋 江戸の浮世絵ショップ』、平凡社、2010年、262p、
- ④ 松塚俊三・八鍬友広編『識字と読書—リテラシーの比較教育社会史—』、昭和堂、2010年、243-272p
- ⑤ クリストフ・マルケ等編『日本の文字文化を探る—日仏の視点から—』、勉誠出版、2010年、381-406p